

# 平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

<b>教科名</b>	国語	<b>科目名</b>	新編国語総合(現代文分野)	<b>単位数</b>	2	<b>履修学年・クラス</b>	1学年全クラス
<b>担当者</b>		<b>使用教材</b>	新編国語総合学習課題ノート 新総合図説国語 小学館現代国語解辞典第5版 パスワード級別漢字				
<b>学習目標</b>	○高等学校における国語学習の基礎として、語彙力や表現力を高める。 ○論理的な文章の構成や展開に注意して、内容を理解し、主語を的確に捉える。 ○目的や場に応じた話し方や言葉遣い、文章表現力を身に付けるとともに、様々な表現方法や伝達方法を的確につかむ。 ○常用漢字の読み書きの力をつける。						
<b>学習方法</b>	○さまざまな文章を読み味わい、心情を豊かにする。板書事項をノートに書いて理解を深める。 ○補助教材を用いた小テストに取り組むことで、常用漢字の習得をする。 ○適切に話したり書いたりすることで自分の意見を表現することを体験し、伝え合う力を高める。						
<b>学習評価</b>	<b>評価の観点</b>		<b>科目の評価の観点の趣旨</b>				
	<b>関</b>	<b>関心・意欲・態度</b>	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。				
	<b>能</b>	<b>話す・聞く能力</b>	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。				
		<b>書く能力</b>	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。				
		<b>読む能力</b>	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。				
<b>知</b>	<b>知識・理解</b>	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。					
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	話	書	読	知		
前期中間	随想1 海流 マイクロネシア	・筆者の思いを、取り上げた話題とのつながりを抑えながら読み取る。	○		○	○	○	関: 筆者の考えに興味を持ち、意見交流をして考えをまとめている。 読: 取り上げられている話題と本文の概略をつかんでいる。 知: 筆者の考えの要点を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	随想1 ルリボシカミキリの青	・筆者の思いを、取り上げた話題とのつながりを抑えながら読み取る。	○		○	○	○	関: 筆者の考えに興味を持ち、意見交流をして考えをまとめている。 読: 取り上げられている話題と本文の概略をつかんでいる。 知: 筆者の考えの要点を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	小説1 とんかつ	・現代を舞台とした小説を読み、情景描写や登場人物の心情の変化を表現に即して捉える。	○	○			○	関: 登場人物やあらすじなど、作品の概要を理解している。 話: 作品について関心を持ち、話し合っている。 読: 本文全体を読んで、情景描写の効果について考えている。	行動の観察 記述の確認 考査
前期末	評論1 無彩の色	・色彩、色調とそのイメージについての筆者の主張を読み取る。	○				○	関: 本文の内容に興味を持ち、筆者の主張をつかもうとしている。 書: 自分の考えを、筋道立てて書いている。 読: キーワードの内容を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	評論1 未来を作る想像力	・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して、筆者の主張をつかむ。	○				○	関: 本文の内容に興味を持ち、筆者の主張をつかもうとしている。 書: 自分の考えを、筋道立てて書いている。 読: キーワードの内容を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	詩 空をかついで 二十億年の孤独 冬が来た	・詩に使われる言葉が象徴しているものを考え、詩を読み深める。 ・特徴的表現に着目しながら、詩を深く味わう。 ・詩を読み味わい、作者の物事に対する感じ方について知る。	○				○	関: 造語の意味や用法、比喩表現の効果を理解している。 読: 言葉の関係と意味を理解して、作者の主張を理解している。 知: リフレインや倒置などの表現技法を説明できる。	行動の観察 記述の確認 考査
後期中間	短歌・俳句 その子二十 春風や 俳句をつくる	・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み味わう。 ・もの見方や感じ方を豊かにする。	○				○	関: 概要を理解し、興味を示している。 読: 音読して、リズムを味わっている。 知: 句の構成・季語・区切れ・取り合わせなど、俳句独自の特徴を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	小説2 羅生門	・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。	○	○			○	関: 教材に興味を持って接している。 話: 主題について、自分なりに根拠を示して発表している。 読: 「下人」のその後について想像している。	行動の観察 記述の確認 考査
後期末	随想2 里山物語 りんごのほっぺ	・非現実の世界を描いた小説を、表現に即して読み、想像力豊かに独自の世界観をたのしむ。	○				○	関: 非現実の世界についての話であることに関心を持っている。 読: 読後感をまとめている。 知: 言葉や情景が象徴しているものを理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	評論2 真の自立とは	・孤立化はする人間の姿を描く例を素に筆者がどのような打開策を展開しているか把握する。	○				○	関: 一つ一つの例から何かを読み取ろうとする。 読: 例を通じて筆者が主張していることを読み取る。 知: 現代の状況理解する。	行動の観察 記述の確認 考査
	働くということ 鍋洗いの日々	・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。	○				○	関: 本文に取り上げられている体験に関心を持ち、話し合っている。 読: 職業について見聞きしたことをまとめ、発表している。 知: 職人の閉鎖的な世界と認められる過程を理解する。	行動の観察 記述の確認 考査

# 平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	国語総合(古典分野)	単位数	2	履修学年・クラス	1学年全クラス
担当者		使用教材	新編国語総合学習課題ノート 新総合図説国語				
学習目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
学習方法	○様々な文章を読み味わい、板書事項をノートに書いて理解を深める。 ○自分の意見を話したり書いたりする。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。				
	能	話す・聞く能力					
		書く能力					
		読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。				
知	知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。					
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法	
			関	話	書	読	知			
前期中間	古文入門(1) 古文学習の意義を理解する 古文に親しむ 児のそら寝	・古文と現代文の違いについて確認する。 ・古文の代表作品の冒頭を音読し、現代とは仮名遣いが違うことを知る。 ・歴史的仮名遣いになれる。	○	/	/	/	○	○	関: 古文学習に対する意欲を持つようとしている。 読: 児の心情の変化を捉え、話のおもしろさを読み取っている。 知: 歴史的仮名遣いについて理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	古文入門(2) 絵仏師良秀	・話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。	○	/	/	/	○	○	関: 古典に題材を採った近現代の作品に関心を持つようとしている。 読: 出来事と心情、良秀の絵仏師としての姿勢を読み取っている。 知: 用言の活用の基本について理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	漢文入門(1) 訓読 格言	・中学校で学習した漢文を想起することから、高校の漢文学習に関心を持つ。	○	/	/	/	○	○	関: 中学校で学習した漢文・漢詩について関心を示し、漢文学習に意欲的に取り組もうとしている。 知: 漢文や訓読の性質について理解している。 漢文の基本的な構造に慣れ、訓点を施している。	行動の観察 記述の確認 考査
前期末	随筆 徒然草	・古文の表現に慣れ、作者の考えを読み取る。 ・作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	○	/	/	/	○	○	関: 作者の考えの概略を理解し、随筆文学のおもしろさを味わっている。 読: 主題を把握し、作者の考えを理解している。 知: 古文の表現に慣れて、文や文章の組み立てや用法を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	漢文入門(2) 故事一三編	・漢文の特色を知り、きまりを理解する。 ・格言や故事を読んで、漢文の世界に親しむ。	○	/	/	/	○	○	関: 中学校で学習した故事成語に関心を示し、漢文学習に意欲的に取り組もうとしている。 読: 本文の意図を理解している。 知: 訓点に従って、漢文を正確に読める。	行動の観察 記述の確認 考査
	唐詩 唐詩一八首	・漢文を繰り返し音読し、優れた表現に親しむ。 ・漢詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わう。	○	/	/	/	○	○	関: 唐詩の学習に意欲的に取り組もうとしている。 読: 作者の心情を理解している。 知: 近体詩の決まりの基本を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
後期中間	随筆 枕草子	・『枕草子』の文学的位置を確認する。 ・平安女流文学について理解する。	○	/	/	/	○	○	関: 作者の考え方について関心を深めている。 読: 作者の感性を、文章中の具体例によって理解している。 知: 平安女流文学の概略を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	詩歌 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	・表現の特色に注意して詩歌を読み味わう。 ・詩歌に現れたものの見方、感じ方に触れる。	○	/	/	/	○	○	関: 和歌に親しもうとしている。 読: 詩に詠まれた情景を想像している。 知: 和歌の技法について理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	論語 論語一八章	・孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えを捉える。 ・孔子の思想を通して、ものの見方や考え方を豊かにする。	○	/	/	/	○	○	関: 『論語』や孔子の人生に関心を示し、意欲的に取り組もうとしている。 読: 孔子の意図を読み取っている。 知: 句法に注意して現代語訳している。	行動の観察 記述の確認 考査
後期末	物語 伊勢物語 平家物語	・物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 ・想像力をはたかせながら、物語の世界を読み味わう。	○	/	/	/	○	○	関: 歌物語や軍記物語を興味を持って読もうとしている。 読: 出来事の推移を把握している。 知: 『平家物語』のあらましを捉えている。	行動の観察 記述の確認 考査
	史話 史話一三編	・話の展開に即して、内容を理解する力を身に付ける。 ・登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話のおもしろさを味わう。	○	/	/	/	○	○	関: 史話への関心を持つようとしている。 読: 段落ごとの内容を整理するとともに、話の展開が理解できている。 知: 漢文重要語・句法の確認が十分できている。	行動の観察 記述の確認 考査